

第2部 札幌くらの活動

札幌くらが行ってきた、行っている
様々な活動のなかで、特徴的なもの、重視
しているものについて、個別に記録しま
す。

札響くらぶコンサート

札響くらぶ主催のコンサートはできないものか、という希望は札響くらぶ発足時からしばしば話題になっていた。年に一度、ファン感謝デー的な、聴衆と楽員がお祭り気分を楽しめるコンサートをやってみたい。それが多くの会員の夢だった。

しかし、オーケストラのコンサートを簡単に開催できる訳はなく、半分は夢、半分はあきらめ、という状態だった。そんな時に、上田事務局長（当時）を通して札響事務局から「年間の演奏会の回数減に歯止めがかからない。特に4月の回数が落ち込んでいる。演奏回数を確保するため、札響くらぶでコンサートをやってもらえないか。札響としてはギャラなしで協力する。」という打診があったのは札響くらぶ発足の翌年、1997(平成9)年のことだった。様々な困難もあったが、翌1998(平成10)年の総会で開催することを決定した。

1999(平成11)年から5年間、札響くらぶ主催で収益金の中から次年度開催の会場費を除く益金を札響に寄付する(毎回100万円単位)という方式でコンサートが続けられた。第6回と、実質的に最後となった第7回コンサートは札響くらぶと札響の共催で、札響の自主公演と位置づけられた。

過去7回のコンサートの概要は次のとおり。

第1回 1999(平成11)年4月17日

指揮 渡邊一正

進行 竹津宜男 丸岡いずみ

スッペ／喜歌劇「軽騎兵」序曲

チャイコフスキー／「白鳥の湖」より

宮川彬良／「アリとキリギリス」 他

第2回 2000(平成12)年4月15日

指揮とお話 尾高忠明

ベルリオーズ／序曲「ローマの謝肉祭」

シベリウス／交響詩「フィンランディア」

ラベル／ボレロ 他

第3回 2001(平成13)年5月26日

指揮とお話 青島広志

モーツァルト／歌劇「フィガロの結婚」序曲

ドヴォルザーク／交響曲第9番「新世界より」他

第4回 2002(平成14)年4月27日

指揮とお話 飯森範親

ビゼー／「カルメン」第1・第2組曲より

ベートーヴェン／交響曲第6番「田園」

第5回 2003(平成15)年4月26日

指揮とお話 西本智実

グリムカ／「ルスランとリュドミラ」序曲

リムスキー・コルサホフ／交響組曲「シェエラザード」

第6回 2004(平成16)年4月17日

指揮 西本智実

進行 竹津宜男

ドビュッシー／「小組曲」

チャイコフスキー／交響曲第4番 他

第7回 2005(平成17)年5月7日

指揮とお話 尾高忠明

チャイコフスキー／バレエ組曲「白鳥の湖」 他

2005(平成17)年の7回を最後に中断した札響くらぶコンサートを、何とか再開できないかと札響とも話し合いを続けてきたが、武藤事務局長の努力で、平成20年度総会で再開が決議された。

第8回コンサートは、2009(平成21)年8月9日に開催することが決定。熟年・団塊世代の人々には懐かしい、本格的な名曲のコンサートというコンセプトで行われる。「新世界より」をメインに、山響音楽監督の飯森範親さんを指揮者に迎える。